



Public Information Furubira

広  
報

# ふるびら

2013 [平成25年]

7  
月号  
No.452



## 防災無線・戸別受信機の内容が固まる

- ・高齢者住宅の細部はこれから
- ・町内会長会議で進捗状況が説明される

毎年5月に行われる「町内会長会議」は地域の代表者である町内会長へ、その年の役場の主な仕事の内容について進め方を理解してもらうために開催しています。

今年5月27日に開催し、目玉事業である「防災無線（同報系）」と「高齢者複合施設」、「一般防災対策事業」などが説明されました。

今月号では、町民の皆さんが町内会長と同じように役場の進めていることを理解できるように会議の中で説明された内容について抜粋してお知らせします。なお、町内会毎に開催された「地域懇談会」でもこの内容が説明されました。

### 防災無線（同報系）

防災無線については、既に広報1月号で、役場の「基地局」で喋った内容が、町中の「屋外スピーカー」や各家庭に設置する「戸別受信機」から一斉にしかも瞬時に流れる装置。屋外スピーカーを町中に27本建設し

て、全世帯に戸別受信機を役場が設置。総事業費は約3億円とお知らせしました。今回は、それ以降に決まった事をお知らせします。

#### ■2億8353万円で契約

指名競争入札を行い本体工事を2億8035万円で橋本・平野経常建設共同企業体と工事監理を318万円で（株）NHKアイテックと契約しました。

#### ■各家庭へも、事業所へも戸別受信機は役場が設置する

戸別受信機は左の写真のようなもので、役場で流した緊急放送を自動的に最大音量で受信し、録音装置も付いている機器です。町内の全世帯には役場が設置します。

1月号では事業所は各事業所の責任で設置してほし



いとお知らせしましたが、日中災害が発生した場合、事業所に設置されていないと連絡が行き届かない恐れがあるため、常時複数の人が働いている事業所は役場が設置することとしました。

#### ■電波が悪い場所は屋外アンテナの設置が必要

各家庭では戸別受信機を居間などの壁面に専用の金具でビス止めとなります。

また電波の状況によっては左のような屋外アンテナを設置しなければきれいに聞こえない家屋もあります。昨年行った調査では町内の約6割がこのアンテナを必要とするだろうという結果が出ています。もちろんこの屋外アンテナの設置費用も役場が負担します。（家の外壁に線を這わせ、換気口等から屋内に入れます。）



屋外ダイポールアンテナ

#### ■皆さんに負担してもらうのは原則、電気代と電池代

設置費用は役場が負担しますが、戸別受信機を動かす電気代と停電時のための電池代は、災害時の「自助」という考え方から各家庭で負担をお願いしたいと考えています。電気代はメーカーの話によると月2〜3円程度で、電池代も市販の単1が2本と単3が2本です。自分の不注意で壊してしまった場合の修理代は自分で負担してもらうこととなります。

#### ■戸別受信機は10月下旬〜1月上旬に業者が設置。詐欺に注意を！

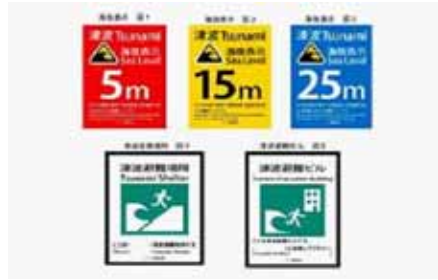
防災無線は来年4月から本格稼働します。それに併せて各家庭への戸別受信機の設置は、今年の10月下旬〜来年1月上旬を予定しています。役場が契約した業者が設置にうかがうことになりましたが、くれぐれも詐欺等には注意して下さい。近くなったら再度、業者名などの詳細をお知らせします。

### 一般防災に関する事業

防災無線以外で今年行うその他の防災事業で町民の皆さんに大きく関わるものを紹介します。

■防災情報板を設置

左のような海拔表示板（50箇所）と避難場所表示板（40箇所）を330万円ほどかけて設置します。これにより町内各地点の海拔と避難場所がどこなのかがすくに分かるようになり



■ハザードマップの作成

古平町の地形図等に標高や避難場所、津波浸水予測を示したハザードマップを300万円かけて作成し全戸に配布します。ハザードマップは平成20年にも作成して全戸に配布しましたが、東日本大震災で北海道庁が日本海沿岸の津波浸水予測を見直したため、それを基に新たに作成します。

■津波避難訓練

今年津波避難訓練を9月5日（木）、午後2時から実施します。昨年、町内会連合会と役場が作成した「地域津波避難計画」に基づい

て行い、その中で定めた一次避難場所まで避難する訓練となります。避難するまでの時間を計測などします。対象町内会は西部方面の港町、入船、本町、丸山、新地町です。

災害は「自助」が原則

町民の皆さんは、災害時の大原則は「自助」であることを念頭に次のことを確認してください。

ハザードマップで自宅や職場からの避難場所を確認する。災害表示板で自分のよく行く場所等の海拔を確認する。そしてどのように避難場所へ行くのか、あらためて経路を確認する。

高齢者複合施設

高齢者複合施設についても広報1月号で次のようにお知らせしました。旧古平高校を再活用し、1階は障がい者の就労継続支援を行うスペースやコミュニケーションスペースとし、2〜3階に高齢者住宅を23部屋造る。

2階の一部ではデイサービスも行う。建物の管理は古平福祉会が行い、24時間管理人が常駐する。整備の総額は4億7千万円程度で家賃等の入居条件は平成25年12月頃決定する。また体育館は災害発生時には一時避難

場所として利用するとお知らせしました。その時点から決まった事や大きく変更となった点はありません。現時点で皆さんにお知らせできることは次のとおりです。



高齢者複合施設イメージ図

■家賃は国民年金収入のみの方でも入居可能

入居できる方は町内に住所がある方。家賃は部屋の広さや入居される方の所得に応じて国民年金収入のみの方でも入居できるように設定します。詳細は12月に決定。

■各部屋はF F式温風暖房機

各部屋の暖房は集中暖房ではなくF F式温風暖房機で、エアコンは設置されません。ただし自分で設置することは可能です。廊下等の共有部分の光熱水費などは現在、検討中です。



居室イメージ図

■家賃は12月に決定、申込は来年2月から受付

平成26年4月からのスタートに向けて、7月に事業者が入札で決定されます。12月には家賃や入居条件などの詳細が決まり、来年2月には入居申込、3月に入居者決定というスケジュールが進めます。

# 原発対策 古平町はどう進めているの？

## その3

道と北電が古平町の  
空気中の放射線を測  
定するために文化会

■防災資機材を整備  
表1の資機材が道から貸与されま  
した。

先月号までの2ヶ月間で福島原発  
事故からの国や道の動きと併せて、  
古平町がどのように原発対策を進め  
てきたのかを特集してきました。古  
平は泊原発の緊急時に防護措置を準  
備するUPZ（30km以内）圏と定め  
られたため、地域防災計画の原子力  
防災計画編（以下「原発計画」）を策  
定した。というところまでをお知ら  
せしました。

きる。 仮に原子力被害で損害が出  
た場合は、法律に基づいて北電は誠  
意を持って補償する。ことなどが定  
められています。

この協定は泊・共和・岩内・神恵  
内の周辺4町村以外の管内16市町村  
が北電・道と締結しました。（周辺4  
町村は昭和61年に別の協定を締結  
済）

今月号は、その他に行った原発対  
策と今後どのような対策を行うのか  
をご紹介します。

### 前2号で掲載した以外の 「その他の原発対策」

#### ■北電と協定を締結

平成25年1月に「泊発電所周辺の  
安全確認等に関する協定」（以下「協  
定」）を北電と北海道庁（以下「道」  
）と締結しました。

この協定では、北電は古平町に  
泊発電所の運営情報などを知らせる。  
古平町の放射線を北電と道が測定  
する。道が発電所の立入検査をす  
る場合には古平の役場職員も同行で

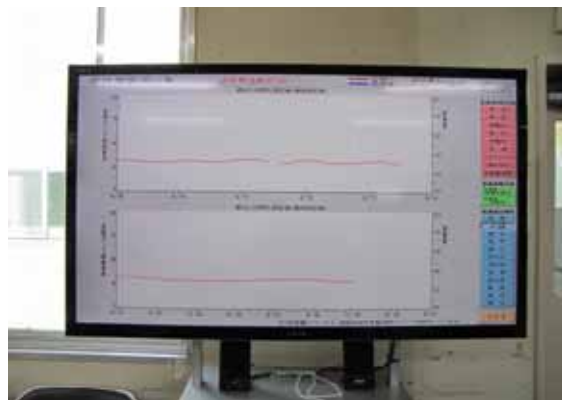
■文化会館前で空気中の放射線を測  
定している

空気中の放射線を監視測定する装  
置をモニタリングポストと言います。



文化会館前広場に設置された  
モニタリングポスト

館前広場にモニタリングポストを設  
置しました。役場民生課（庁舎別館  
「新しい庁舎」）でリアルタイムに放  
射線測定データを確認することがで  
きます。



庁舎別館でリアルタイムに  
放射線測定データを確認できます

#### ■農水産物の放射線濃度を測定

道及び北電が平成25年度から次の  
農水産物と水道水の放射線濃度の測  
定を毎年継続的に行います。

ほっけ（6月）、えび（6月）、いち  
ご（6月）、ばれいしょ（9月）、た  
こ（11月）

【表1】道から貸与された防災資機材一覧

No.	資機材名	数量	用途
1	サーバイメーター	5台	原子力災害が発生した際、「クリーンセンター」「明和集会所」「沖町防災祈念広場」で放射線を測定するための機器
2	ポケット線量計	70台	原子力災害の際に従事した職員が、どのくらい被ばくしたのかを計る機器
3	防護服・防護マスク	278着	原子力災害の際に従事する職員が着衣する防護服・防護マスク
4	衛星携帯電話	2台	緊急時の連絡用電話
5	防災車両	1台	緊急時の情報連絡のための車両
6	安定ヨウ素剤	2000丸	放射性ヨウ素による内部被ばくを軽減するための薬



↑ サバイメーター



■ 441万円の補助金  
原子力防災対策のために行う事業

今後、町が実施しなければいけない対策



↑ 防災車両



↑ 防護服

→ 写真上…ポケット線量計  
写真下…安定ヨウ素剤



【表2】原子力防災対策費補助金充当事業一覧

(単位：円)

No.	事業名	内容	事業費	補助金
1	役場庁舎防災備品庫改修工事	役場庁舎内に防災備品庫を整備する	2,127,000	/
2	防災備品庫整備工事	避難場所となる小学校敷地内に防災備品庫を整備する	1,500,000	
3	防災無線（移動系）整備事業	災害時の連絡手段となる無線機を整備する	1,600,000	
4	防災備品収納ロッカー整備事業	防災備品庫で使用する収納ロッカーの整備	659,400	
5	その他の原子力対策事業	事務的経費	588,455	
合計			6,474,855	4,410,000

の財源として、道から「原子力防災対策費補助金」が毎年交付されます。UPZ圏内の町村はそれぞれ441万円です。この補助金を活用して平成25年度は表2のような事業を行います。

■ 7月末までに「避難計画」を策定する

先月号で掲載した原発計画は、原子力災害でやらなければいけないことを列挙しただけの計画だと紹介しました。その計画の中では30km圏外への避難を想定して町外の避難場所を決めなければいけないと記述しています。このような避難場所や移動方法などの具体的な内容を定めるものが「退避等措置計画（以下「避難計画」）です。

道は関係町村に避難計画を7月末までに策定するように求めており、古平町も計画策定に向けて道や他市町村と連携しながら現在、避難先のホテル・旅館などと調整中です。

■ 10月8日、原子力防災訓練を実施  
10月8日、古平町は、道とUPZ圏内の町村とともに昨年に引き続き原子力防災訓練を行います。

内容は防災計画で定めている泊原発30km圏外の小樽市へ避難する訓練と避難先での講習会となります。昨年ほどの大規模な訓練とはならない予定ですが、詳細が決まり次第、再度

度広報等でお知らせいたします。

町民の皆さんにお願いしたいこと

■ 災害は「自助」が大原則

これまでも何度も述べてきましたが、災害時の大原則は、自分の身は自分で守るという「自助」です。

役場では今後も町民の皆さんが原子力や放射線に対する正しい知識を習得できるように広報等でお知らせいたします。さらには避難の際の手引きとなる「避難のしおり（仮称）」を作成して全戸配布する予定です。

これらを基に自分の避難場所はどこか？ 避難先では何が必要か？ 災害が発生した場合の家族間の決め事をおこなうてよいか？ など、いざという時に冷静に行動がとれるよう平常時から考えておいてください。

第2回臨時議会で審議された案件

5月20日の第2回臨時議会では、次の案件が審議されました。

〔議案第28号〕

副町長の専任について

氏名 田口博久

原案可決

〔議案第29号〕

平成25年度古平町一般会計補正予算

(第1号)

現行予算に2、916万5千円を追加し予算総額を31億7、216万5千円とするものです。主な内容は旧古平高校を活用する高齢者複合施設等の設計額が確定したため増額補正するものです。

原案可決

〔議案30号〕

専決処分承認 古平町税条例の一部を改正する条例案

主な改正内容は、市中金利の低下に基づき国税が延滞金と還付加算金を引き下げたため町税も見直すものです。また住民税に影響する住宅ローン控除を4年間延長するものです。

原案可決

〔議案第31号〕

専決処分の承認 古平町都市計画税条例の一部を改正する条例案

主な改正内容は、民間が管理する備蓄倉庫の税率軽減割合を町が独自で決定できるようにするものです。

原案可決

毎年7月は「社会を明るくする運動」強調月間

犯罪や非行のない地域社会を作ることを目的にしている「社会を明るくする運動」は今年で63回目です。

この運動を広く町民の皆さんに知ってもらうため、北後志5町村で毎年、推進委員会を組織して活動しています。今年7月8日に各町村を回る車両パレードを行い、それに併せて法務大臣と北海道知事から町長へメッセージが伝達されます。



法務大臣のメッセージを受け取る副町長（写真は昨年のもので）

また次代を担う小中学校の子どもたちに犯罪や非行についてより理解を深めてもらうために作文と標語の募集も行います。優秀な作品については7月25日開催予定の古平町住民集会で表彰されます。



住民集会で優秀な標語を読み上げる生徒たち（写真は昨年のもので）

住宅リフォーム補助金追加募集します！

5月末まで受付をしていました「住宅リフォーム補助金」が、予算額に達していないため追加募集を行います。（6月10日現在で予算額900万円に対して、およそ270万円が補助決定済）

□募集期間

先着順。予算額に達した時点で終了となります。

□補助金額

工事費の30%で一戸当たり30万円が限度です。

□対象者

町に住民登録していること  
住宅の所有者で、現に居住していること

世帯員の中に今年度個人町民税課税標準額が200万円を超える人がいないこと 他

□その他

他にも工事内容等に関して条件等がありますので、詳細は広報5月号又は町ホームページ、左記までお問い合わせください。

◇お問い合わせ先

建設水道課 建築係 大原

☎42-2181（内線43）



# 後期高齢者医療制度のお知らせ

## 保険証の一斉更新・減額認定証の交付・医療費通知発行希望

### ◆保険証が新しくなります◆

有効期間が1年間になり、毎年更新することになりました。

現在ご使用の保険証の有効期間は平成25年7月31日です

7月中に新しい保険証を交付しますので、お手元に届きましたら現在の保険証(黄色)を破棄し、新しい保険証(ピンク色のもの)をご使用ください。

### ◆減額認定証も新しくなります◆

入院及び外来で一定額以上支払う必要がなくなり、住民税非課税世帯の方は食事代も減額される認定証です。

現在ご使用の認定証の有効期間は平成25年7月31日です

引き続き交付対象に該当する方は7月中に保険証とともに減額認定証を交付します。

新たに必要となる方は、世帯員全員が非課税であることを確認のうえ、民生課 健康保険係へ申請してください。

新しい減額認定証は水色です。

### ◆医療費通知の発行を希望される方へ◆

被保険者の皆さんに健康や医療に対する理解を深めていただくために医療費を半年ごとにまとめ、発行を御希望される方へ医療費通知を送付しています。

次回の発行(平成25年1月から6月分の医療費)は9月です。

現在発行されている方は、継続して発行いたします。

新たに発行をご希望の方は、ご連絡ください。電話のみの連絡で手続きはできません。

### ◇お問い合わせ先◇

北海道後期高齢者医療広域連合  
〒060-0062

札幌市中央区南2条西14丁目

国保会館6階

☎011-290-5601

役場 民生課 健康保険係

和泉・人見

☎42-2181(内線39・57)

お気軽にお問い合わせください

# 新鮮な海の幸たっぷり!

## ～平成25年度 漁協祭～

**古平漁港 東しゃこたん 漁協祭**

新鮮な魚介類をたっぷり味わいました。

漁協祭は地元魚介類をPRし漁家経営の安定に繋げることを目的に行われており、今年で4年目です。

好天に恵まれ朝から会場は多くの人で賑わいました。新鮮なウニや甘エビが飛びように売れ、ツブやタコなどの串焼きには人だかりが出来ていました。またカレイのつかみ取りには、販売前から多くの人が行列をつくり30分もたたないうちに完売していました。

昨年の同時期の開催では1900人程度であつたため、関係者は「漁協祭の認知度が高くなってきている」と話していました。

大勢の人たちが新鮮な魚介類を買い求めました

6月 9日(第2日曜日)・6月30日(第5日曜日)  
7月21日(第3日曜日)・9月23日(第4日曜日・祝日)

とこ 東しゃこたん漁協生産部前  
とき 9:00～14:00

7月13日 20:00～ 恵比寿神社境内  
7月14日 20:00～ 新地みどり公園内

天狗の火渡り  
琴平神社例大祭

今年第1回目の漁協祭(主催・東しゃこたん漁協)が6月9日、古平漁港内の漁協直売所前で開かれました。近隣町村や札幌などからおおよそ3500人が訪れ、前浜産の新鮮な魚介類をたっぷり味わいました。

漁協祭は地元魚介類をPRし漁家経営の安定に繋げることを目的に行われており、今年で4年目です。

好天に恵まれ朝から会場は多くの人で賑わいました。新鮮なウニや甘エビが飛びように売れ、ツブやタコなどの串焼きには人だかりが出来ていました。またカレイのつかみ取りには、販売前から多くの人が行列をつくり30分もたたないうちに完売していました。

昨年の同時期の開催では1900人程度であつたため、関係者は「漁協祭の認知度が高くなってきている」と話していました。

大勢の人たちが新鮮な魚介類を買い求めました



## 生活習慣病を予防する 無理なく内臓脂肪を減らすための(1)

5月号では、生活習慣病を予防するためには内臓脂肪を減らすことが重要というお話をしました。近頃はダイエット本やダイエット食品のコーナーなど色々な情報が溢れています。数週間で十何キロも痩せた等しい効果が書かれている広告もみられますが、急激な減量はリバウンドや栄養のアンバランスによる体調不良を招きかねません。

健康づくりのためには、無理なく内臓脂肪を減らしていくことが大切です。そこで、次のポイントを参考に自分の目標とする体重を決めてみましょう。

目標体重として、BMI 25以上30未満の人は現在の体重の5%、BMI 30以上の人は10%の減量を目安にしましょう。

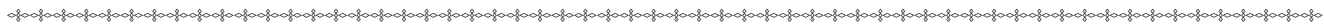
目標達成までの期間は、3〜6カ月と考えましょう。

1kgの体脂肪を減らすためには、7000キロカロリーを消費する必要があります。どのように消費するのか具体的な取組を考えましょう。

【例】体重60kg BMI 25の女性の場合を左の表に当てはめて考えてみましょう。現在の体重は60kg、BMI 30未満なので減量は5%となり3kgとなります。そのため目標体重は57kgとなります。目標達成期間を6カ月とすると、3kgの体脂肪を減らすためには、一日当たり16・7グラムづつの減量が必要で、そのためのカロリー消費量は117キロカロリーとなります。

この方は、毎日の生活の中で117キロカロリーを運動か食事の改善、または両方を6カ月間続けることで目標体重を達成できる計算になります。具体的な取組は、次回ご紹介いたします。

1	今の体重は?	①	kg
2	今の体重の5%(または10%)は?	①	kg × 0.05(または0.1) = ② kg
3	目標体重は?	①	kg - ② kg = ③ kg
4	目標達成期間は?	④	か月間で減らしたい
5	1日当たりの減量目安は?	②	kg × 1000 ÷ ④ か月間 ÷ 30 日 = ⑤ g
6	体の脂肪を1kg減らすためには、7000kcalの消費が必要ですから		
7	1日⑤ g × 7 kcal = ⑥ kcal	一日に減らすカロリー量はこれだけ!	



## 子育て支援センター「みんなの広場」とは…

子育て支援センターでは、毎週火曜日と木曜日に町内に住む新生児から小学校入学前までの親子を対象とした「みんなの広場」を行っています。この広場では遊びを通して親子のコミュニケーションを深めることや親同士の子育てに関する情報交換の場となっています。

時間は午前10時〜午前11時30分。親子で折り紙やぬり絵、おもちゃで遊ぶこと、季節や年齢に合った絵本を保育士が読み聞かせることなどを行っています。

昨年は年65回開催され、延べ1617人(親638人、子ども979人)が利用しました。是非、子育て支援センターを利用して親子の愛情を深めてください。

◆お問い合わせ

子育て支援センター  
鈴木

☎ 42-4151



自由時間の親子遊び



保育士による絵本の読み聞かせ



# 古里を懐かしみ120人が懇親！

## 札幌古平会総会・懇親会

札幌近郊の古平出身者でつくる札幌古平会（水見隆夫会長）の第74回総会・懇親会が札幌市内の全日空ホテルで5月18日開かれ、会員など120人が出席しました。

水見会長が冒頭「1年に1回の貴重な時間です。古里を語り懐かしんでください」とあいさつすると、本間町長が町では今年、防災無線を整備することや旧古平高校を利用して高齢者住宅を建設するなどの故郷の近況を報告しました。また4月の町長選挙で4選を果たしたことに触れ「4期目として、皆さんの故郷である古平町のために精一杯努力します」とあいさつしました。

参加者は「古平ではまだ桜が満開ではないよね」などと古里に思いをはせながら、和やかに懇談していました。しかし古平町盆踊り保存会（岩間修身会長）の生演奏による踊りが披露されると一転、出席者の中

には一緒にステージ前で踊る人が現れるなどおおいに盛り上がりました。120人全員に地元の水産加工品等が町内企業などから贈られました。



盆踊り保存会による生演奏に合わせてステージ前で一緒に踊る参加者たち

# 万感のさよならコンサート！

## 古平・積丹ぞうれっしや合唱団



した曲をこれまで披露してきました。しかし最近では少子高齢化の影響で子どもの団員が年々減少していることや大人も仕事の関係で次第に集まりにくくなり、活動が困難となつていくことから解散が決められました。

コンサートでは団員たちは約190人の観客の前で「ぞうれっしやがやってきた」の全11曲を約1時間かけて熱唱しました。アンコールで「ぞうれっしやよはしれ」を歌い上げると会場からは、大きな拍手が送られるとともに、解散を惜しみ涙ぐむ人もいました。

子どもと大人の混声合唱団である「古平・積丹ぞうれっしや合唱団」の解散コンサートが5月19日、文化会館で行われ、かつてのメンバーを含めた70人が「ぞうれっしやがやってきた」を歌い上げ、17年の歴史に幕を閉じました。

同合唱団は豊浜トンネル事故が起きた平成8年12月に結成され、命の尊さや平和の大切さなどをテーマに



団員の渡邊嘉之さん（旭町）は「解散は残念だが、孫も入団して一緒に活動できたことが良い思い出となった」と話してくれ、事務局を担っていた竹内ひとみさん（旭町）は「準備などいろいろと大変だったが、団がなくなることは寂しい。団の活動を支援してくれた古平や積丹の皆さんに感謝したい」とこれまでの思い出を話してくれました。



# 古平小学校 運動会

新グラウンドで全校児童最後まで全力を出しきり、  
心に残る運動会にしよう！

南中ソーラン



6年生徒競争



古平小学校の運動会が5月25日、多目的運動広場（小学校前グラウンド）で行われ、児童は保護者や地域住民の声援を受けながら元気いっぱいグラウンドを駆け回りました。

今年の運動会は早朝に小雨が降り、天候が心配される中での開始となりましたが、幸いにも雨は降らず心地よい気温の中で行われました。

野島照久校長は「新しいグラウンドを造ってくれた町の人たちへ感謝しながら、皆で力を合わせて最後まで諦めずがんばってください」とあいさつ。

児童は紅組と白組に分かれ、威勢のいい応援合戦の後、徒競争や走ってひっぱれ（綱引き）、南中ソーラン、紅白対抗リレーなど約20競技を行いました。

大玉転がし（5・6年）→



直径1・5mの大玉を転がし早さを競う「大玉転がし」では、急いで転がそうとするあまり大きくコースから逸れてしまうこともありました。また抜きつ抜かれつの「紅白対抗リレー」では、アンカーがゴールを駆け抜けると喜びの歓声と落胆の声がグラウンドに広がっていました。



←走ってひっぱれ（4～6年）

4色リレー（4～6年）



4色リレー（1～3年）





# 古平中学校 体育大会

～大会テーマ～

## TRUST (信頼)

Trial(試み)、Respect(尊敬)、Union(団結)、Stimulate(励まし)、Thought(思いやり)



← 全校縦割りリレー



→ 3年男子 100m走

大会では心地よい風が吹く中で、生徒は100m走、走り高跳び、走り幅跳び、ハンドボール投げなどに挑みました。競技に臨む眼差しは、練習の時よりも記録を伸ばそうと真剣そのものでした。また自分が競技に参加していない時は、大きな声援と拍手

古平中学校の第66回体育大会が6月2日、古平中学校のグラウンドで行われ、生徒は保護者などの声援を受けながら仲間と団結して自己記録に挑みました。

村井満校長は生徒に「仲間と一丸となって正々堂々とがんばること。仲間を一生懸命応援すること。競技間はきびきびとした姿をみせること」を呼びかけました。

### 第66回 古平中学校体育大会 新記録

種目	学年	氏名	記録	これまでの記録
女子 走り高跳び	2年	土谷 夏海	1m20cm	1m13cm(H23)
女子 800m走	2年	小林 七彩	3分04秒36	3分07秒94(H22)
女子 400mリレー	2年	布谷 百夏 土谷 夏海 田中 玲奈 小林 七彩	1分04秒40	1分04秒60(H7)
男子ハンドボール投げ	1年	小林 翔真	19m78	新種目
	2年	大島 遥希	19m51	
	3年	山口 泰生	29m51	
女子ハンドボール投げ	1年	五十嵐 美桜	16m06	新種目
	2年	坂下 あかり	19m23	
	3年	梅内 海里	20m15	

で仲間を励ましていました。

2年女子走り高跳びで新記録の1m20cmを跳んだ土谷夏海さんは「練習の時は1m20cmを跳ぶことは出来なかったが、友達の応援がすごく嬉しくて頑張れた。来年、走り高跳びに挑戦するしたら1m25cmを目標としたい」と話してくれました。

競技の最中には生徒がマイクで実況中継するなど、生徒中心の大会運営となっていました。



女子走り高跳び



男子走り幅跳び



男子ハンドボール投げ

5/17(金)

「20%のプレミアム商品券を今年も発行することを決定」～商工会通常総会



町内商工業者の経営の改善に関する相談とその指導、町内経済の発展のために活動を行っている古平町商工会の通常総会が5月17日、文化会館で行われました。会員115名のうち24名の参加と41名の委任状、4名の書面同意により、本年度の事業計画案などが審議されました。

冒頭、梅野史朗商工会長が「少子高齢化による消費の減退や消費の町外流出など経済状況は厳しいですが、町と連携しながら町内経済活性化のために努力していきましょう」とあいさつしました。

総会では今年度の事業計画として、昨年に続き20%のプレミアム率が付いた商品券の発行や北後志で連携してスタンプラリーを実施すること、収支予算が審議され全会一致で決定されました。

5/23(木)

「忙しいママでも簡単にできる一品料理」～子育て支援センター 料理教室



子育て支援センターに登録している母親を対象とした料理教室が5月23日、文化会館で行われ、14人の母親が町栄養士の指導のもと健全な食生活などを考える食育について学びました。

教室では3組に分かれた母親が、野菜をたくさん使った「白菜としらたきの具だくさん中華スープ」「トマトとマーボ豆腐」「にんじんしりしり」の3品を作り、調理後は子どもと一緒に作った料理を会食しながら母親同士の親睦を深めていました。

6ヶ月の息子と参加していた若林ひとみさん(れい明の里)は「家ではあまり作らないようなメニューだった。簡単に作れるので家でも作りたい」と話してくれました。

5/24(金)

「みんなと食べたお弁当はおいしかったよ」～幼児センター 春の遠足



5月24日、幼児センターの4・5歳児39人が遠足に出かけ、屋外での活動に心地良さを感じました。

園児は文化会館から中央集会所と消防署前を通り、目的地の中島公園までおおよそ50分間をかけて、道端に咲いているチューリップなどを観察しながら歩きました。

中島公園に着くと歩いた疲れを感じさせないくらい元気に走り回って遊び、おいしそうにお弁当をほおばっていました。

5歳児の小林一華ちゃんは「みんなと歩いてやって来た公園で遊んだことが楽しかった。お弁当もとてもおいしかった」と満足そうに話してくれました。



5/30 (木)

「介護が必要にならないように筋力アップ」～明和地区 転倒予防運動教室



転びにくい身体をつくるための転倒予防運動教室が5月30日、畑方面の住民を対象として明和集会所で行われました。

転倒して仮に骨折するとそこから運動不足となり、介護が必要な状態に陥るケースが全国的に増えていることから介護予防を目的として行われました。

講師は古平福祉会の健康運動指導士である辻田宏さんでした。

教室では6人の参加者が、椅子に座りながら棒やスポンジボールなどを使って足腰の筋力アップや身体全体のバランス能力を高める運動に汗を流しました。また運動前には町保健師による健康相談も行われ、参加者は血圧測定や尿検査の実施結果からアドバイスを受けていました。

6/7 (金)

「交通安全に対する意識を高める」～教職員交通安全講習会



先月仁木町で発生した教職員の死亡事故を踏まえ、教育委員会が小中学校の教職員を対象とした交通安全講習会を7日、古平中学校で開催しました。

講習会では余市警察署の立崎交通課長が、出席した21人の教職員に最近の交通事故の発生状況等話されたほか、出席者は酒を飲んで運転した場合とそうでない場合の運転状況を比較したDVDを視聴し、飲酒運転の恐ろしさを学んでいました。

小学校の山川沙都美教諭は「これまでも自分が交通事故を起こしたら残された家族が辛い思いをすることだと思っていたが、今日の講習会であらためてそれを実感した」と話してくれました。

6/10 (月)

「秋には豊かに育てほしい」～古小5年17人が田植えに挑戦



古小5年生17人が10日、栄町の小澤静江さんの水田で田植えに挑戦しました。

同小では地元の豊かな恵みを知ってもらうとともに食育にも力を入れていこうと総合学習の時間に実施しており、今年で2回目です。

子供たちは小澤さんの指導で田植えを開始。まっすぐ苗を植えようとしながらも大きく曲がったりしましたが30分ほどで約0・4アルの水田に「ゆめぴりか」の苗を植えました。9月には稲刈りを行い、家庭科の時間に試食予定だそうです。

体験後、八幡花里さんは「まっすぐ植えることは難しかったが、自分では上手に出来たと思う。収穫時にはちゃんと育ててほしい」と話してくれました。

## 国や道などからのお知らせ

【平成26年度後志町村職員採用資格試験のご案内】

平成26年度後志町村職員「一般事務職」の採用資格試験の内容は次のとおりです。

○試験区分及び職務内容

一般事務職（初級・上級）  
町長部局、教育委員会等各種委員会事務局、議会事務局等に勤務し、一般行政事務に従事します。

○受験資格

・初級試験 平成4年4月2日から平成8年4月1日までに生れた者。  
・上級試験 昭和61年4月2日から平成4年4月1日までに生れた者。  
ただし、日本国籍を有しない者又は地方公務員法第16条の各号のいずれかに該当する者は受験できません。

○受付期間

平成25年7月2日～8月1日

○第一次試験 平成25年9月22日

○試験会場 倶知安高等学校

◇お問い合わせ

後志町村会

☎0136-22-0216

・役場 総務課職員係 山下・山形  
☎42-2181（内線21・23）

## 【介護保険料の納期限】

7月25日は第1期分の納期限です。忘れずに納めるようお願いいたします。

◇お問い合わせ先

後志広域連合 介護保険課

☎0136-55-8013

・役場 保健福祉課

介護保険係 金沢

☎42-2182（内線12）

## 【無料法律相談のご案内】

毎月第3水曜日に無料法律相談所を開設しています。金銭、不動産、家事等の法律問題を札幌弁護士会所属の弁護士が相談に応じます。お気軽にご利用ください。

開設日 7月は17日（水）

開設場所 余市中央公民館2F

開設時間 午後1時～午後4時

相談時間 1人30分まで

予約受付 相談には事前に予約が必要

必要です

◇お問い合わせ先

役場 民生課福祉係 堀・黒川

☎42-2181（内線56）

## 【各種自衛官等の募集】

自衛官候補生・一般曹候補生・航空学生・防衛大学校学生・防衛医

科大学校医学科学生・防衛医科大  
学校看護学科学学生を募集します。

◇お問い合わせ先

自衛隊札幌地方協力本部 小樽地域事務所（小樽市稲穂2-22-4  
樽石ビル2F）

☎0134-22-5521

【倶知安保健所女性の健康サポートセンターの開設および平成25年度倶知安保健所「女性の健康相談日」について】

倶知安保健所では女性の健康サポートセンターを開設し、思春期からだやこころ、望まない妊娠、不妊、更年期の障害など女性の健康に関するさまざまな悩みや不安に対して、広く相談をお受けしています。

○相談担当者 保健所の保健師

○相談方法 面接（予約制）、電話

○電話相談

月～金曜日 8時45分～17時30分  
（土日祝日、年末年始を除く）

○面接相談

事前の予約制とし、毎月第3火曜日 13時30分～16時00分

○面接相談場所 倶知安保健所

◇お問い合わせ先

北海道倶知安保健所 健康推進課

主査（子育て支援・相談）

☎0136-23-1958

【特定疾患、ウイルス性肝炎進行防止対策（肝炎治療特別促進事業）及びウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療受給者証の更新申請について】

現在の「受給者証」の有効期間は、平成25年9月30日までです。

平成25年10月1日以降の受給者証の交付を希望される方は、忘れずに更新申請を行ってください。

なお、ウイルス性肝炎進行防止対策（肝炎治療特別促進事業）受給者証の更新は、B型肝炎の核酸アナログ製剤治療を継続される方のみ対象です。

○更新受付期間 平成25年7月1日

～平成25年9月30日

医療受給者証の種類によって申請に必要な書類が違いますので、不明な方はお問い合わせください。

◇お問い合わせ先

北海道倶知安保健所 健康推進課

保健予防係

☎0136-23-1951

北海道倶知安保健所 余市支所

☎23-3104



# ふるびら 元気っ子

町内に住む満1歳になる  
子どもを紹介します。  
今月号は6月に誕生日を  
迎える子どもです。



れんと  
**山崎 蓮虎** ちゃん  
6月12日生  
保護者 翔剛さん  
望さん  
(本陣)  
(望さんより)  
明るくて、誰にでもやさしく  
できる子に育ってほしい

## 建設協会が車椅子 8台を寄附！

建設事業の健全な発展などを目的  
としている古平建設協会（福津隆範  
会長）が3日、町に車椅子8台を寄  
附してくれました。今回の寄附は地  
域貢献活動の一貫で、地域福祉の向  
上のために行われたものです。  
寄附された車椅子は社会福祉協議  
会（加我孝芳会長）が管理している  
地域福祉センターで使われます。  
町長室で行われた贈呈式では、福  
津会長から本間町長へ目録が手渡さ  
れた後、加我会長は「利用者のため  
に有効に使わせていただきます」と  
感謝の言葉を述べていました。



町長室での贈呈式。左から建設協会の福津会長、  
平野理事、社協の加我会長、本間町長



交通安全  
指導員

## 水木友子さん表彰される

現在も交通安全指導員と  
して活動している水木友子  
さん（港町）が5月23日、  
北海道交通安全指導員連絡  
協議会より長年の活躍が認  
められ表彰されました。  
水木さんは平成3年6月  
から交通安全指導員として、  
春・秋の交通安全運動期間  
での街頭指導はもちろんの  
こと、町内で行われる各種  
行事の際には指導員として  
交通誘導を行うなど交通安  
全に尽力されています。  
6月13日、役場町長室で



本間町長から表彰状を手渡される  
水木さん

行われた伝達式では本間町長から  
表彰状を手渡されると、水木さん  
は気持ちをあらたに「これからも  
がんばります」と言っていました。

## 田中利雄さんに瑞宝単光章

長年、消防団員として活  
躍された田中利雄さん（浜  
五）が、4月29日、日本国  
天皇より瑞宝単光章が授与  
され、6月7日、役場町長  
室において本間町長より授  
与証などが伝達されました。  
瑞宝単光章は、公共的な  
業務に長年にわたり従事し  
て、功労を積み重ねた方に  
授与されます。  
田中さんは、昭和35年8  
月から平成7年9月までの  
35年余り、消防団員として  
数々の火災現場や災害現場



授与証を手にする田中さん

で活躍されるとともに、団員の教  
育訓練・育成強化にも尽力されて  
きました。

# いきいき・ほのぼの文芸

## 古平町岬短歌会

ごみ摘み花愛らしき山葵お詫び言ひつここれも袋に  
雪もとけふつくろ色つくつじの芽春風そつと小枝揺らすも 泉 清三  
新緑の萌え萌え出する散歩道草の匂ひは風に流され 坂本 信子  
職退きし息子を囲み記念にとカメラに向くに溢れくるもの 鈴木 時子  
花便りやつや／＼この頃は誘はれるやう鶯も鳴く 田中 香苗  
雪解かれと春雨続き連休は寒さ凌ぎのストープ恋し 寺田 カツ子  
有難くゴルフ免許証に切り替へぬ年重ねるたび身の引きしまる 仲谷 喜美能

## 古平俳句会

砂浜の砂さらさらと夏に入る  
錆び易き漁具雑然と浜薄暑 渡辺 嘉之  
更衣亡母のもの着て鏡見る  
武者人形ディサービスの大ホール 山 悦子  
新緑の庭にしつら丸木椅子  
登校の子等のさざめき更衣 高橋 重子  
夏祭手拭首に猿田彦  
子供の日ハンバーガーの高さかな 山 哲

もの言はぬ子の入学や母弾み  
長閑さや岬めぐりの一卜日かな 室谷 弘子  
三姉妹好みそれぞれ更衣  
前浜にいつも釣り人若葉風 仲谷 比呂子



## 町長室から

### 雑感

5月初頭のながーい時化……ヤ  
リイカの漁期が台無しになってし  
まった。そして、いつまでも低  
温状態が続いたために桜の開花が  
遅れ、観光地でのイベントも大痛  
手を被ったに違いない。

東京では、史上3番目に早い梅  
雨入り宣言をしたものの、空梅雨  
だったり、台風だったり何だか  
メチャクチャである。北海道は  
6月に入ってようやく好天が続く  
ようになった……それもとんでも  
ない真夏日の地域があったり、  
ちよつど良い爽やかな地域や低温  
の地域もあつてまさに広い北海道  
そのものだ。

広報11月号にも「極端は要注意」  
と書いたと思うが、夏の猛暑に続  
いての厳冬の冬、そして空の模様  
につけても本当に「極端」が多す  
ぎる……ごく自然の移ろいが恋し  
いのである。

先頃、余市神社の例大祭が今年  
もまた好天に恵まれて終了したと  
ころであり、果たしてわが町の祭  
りはどうかかと、何となく空模様  
が案じられる今日この頃なのだ。

古平町長 本間 順司

ご寄付いただき誠に  
ありがとうございました(敬称略)

### ◎現金

100,000円 宮 森 俊 典(札幌市)  
100,000円 久 木 恭 寛(入船町)

### ◎物品

車椅子8台  
古平建設協会  
会長 福 津 隆 範

### ご冥福をお祈りいたします

氏 名	年 齢	死 去 月 日	町 内
齊藤 ハルさん	99歳	5・20	本 陣
小田嶋嘉幸さん	56歳	5・22	旭 町
真貝 常吉さん	96歳	6・10	本 陣

### 町の人口と世帯数

	前月比
人 口	3,535人 (-1)
男	1,669人 (+2)
女	1,866人 (-3)
世帯数	1,882世帯 (+1)
外国人	19人 (-5)
男	2人 (0)
女	17人 (-5)

(平成25年5月末日現在住民基本台帳人口)

